

教科	工業	科目名	建築計画	単位数	2
学科	建築	学年	2 学年	履修区分	選択
使用教科書	「建築計画」(実教出版)				
副教材など	「建築計画演習ノート」(実教出版)、補助プリント				

#### 1. 科目の目的

- ① 建築の発達、歴史的な変遷、現状などの習得をめざす。
- ② 建築の設計活動に深い関心と意欲を持ち、合理的かつ意匠的に計画し実践できる能力と態度を養う。

#### 2. 授業の内容と進め方

本校では、講義のみの授業にならないように、教科書を理解させるだけでなく、実習科目と連携をとって各種資格試験の取得にもつながる知識を習得しています。

#### 3. 学習する上での留意点

各單元ごとに小テストを行います。各学期に中間考査・期末考査を実施します。

#### 4. 課題等について

各單元ごとに、学習到達目標に達しない生徒は、補習を実施します。

#### 5. 成績評価規準(評価の観点及び趣旨)

評価の観点	評価規準
関心・意欲・態度	学習に関心を持ち意欲的に取り組んでいるか。また、積極的、真摯な態度で授業に臨んでいるか。
思考・判断・表現	建築計画の概要・歴史・環境等について適切な判断と創意工夫する能力を身につけている。
技能	建築計画の概要・歴史・環境等について理解し建物の計画ができる。
知識・理解	基本的な知識を習得し十分な理解ができているか。

#### 6. 評価の方法

- (1) 出席状況。
- (2) 授業への取り組み状況。
- (3) 授業ノートの内容。
- (4) 定期テスト
- (5) 項目ごとの小テスト。

学期	月	学習内容 (単元・考査等)	学習のねらい	評価方法等
一 学 期	4	(1) 建築計画の概要 ア 建築計画の意義 ① 建築物の役割 ② 建築物に影響を与える要素 ③ 建築計画の内容	○建築物がつくられる目的や、建築のもつ意味や本質、計画の進め方について理解することができる。  ○色彩が建築物に与える影響や快適な住環境を計画する上で基礎的な要因であることについて理解することができる。  ○わが国や西洋の建築の変遷と建築形式などについて、理解することができる。  ○近代や現代の建築の変遷と建築形式などについて、理解することができる。  ○気候や光が建築物に与える影響や快適な住環境を計画する上で基礎的な要因であることについて理解することができる。  ○熱や音が建築物に与える影響や快適な住環境を計画する上で基礎的な要因であることについて理解することができる。  ○建築物に用いられる各設備の概要について理解することができる。	中間考査
	5	イ 建築計画の進め方 ① 条件のとらえ方 ② 計画の立案と進め方 ウ 建築計画の進め方 ① 建築と形態 ② 建築と色彩		
	6	(2) 建築の移り変わり ア わが国の建築 ① 住宅建築 ② 宗教建築 ③ 都市 イ 西洋の建築 ① 古代の建築 ② 中世の建築 ③ 近世の建築 ウ 近代の建築 ① ヨーロッパ ② アメリカ合衆国 ③ わが国の近代建築		期末考査
	9	エ 現代の建築 ① 世界の現代建築 ② わが国の現代建築		中間考査
	10	(3) 建築物の内外の環境 ア 気候 ① わが国の気候 ② 室内気候 イ 日照と日射 ① 日照と日射 ② 日射 ウ 採光と照明 ① 採光 ② 照明 エ 換気と通風 ① 室内の空気汚染 ② 換気 ③ 通風 オ 伝熱 ① 貫流 ② 結露		期末考査
	11	カ 音響 ① 騒音 ② 音圧と残響		
	12	(4) 住宅の計画 ア 住宅の意義 ① 住宅の目的と種類 イ 全体計画 ① 敷地・配置・平面・設備計画 ウ 各部の計画 ① 寝室② 居間、食事室 ③ 台所 ④ 便所、浴室、洗面所、家事室 ⑤ 玄関、廊下、階段など		期末考査
三 学 期	1			
2				
3				